



11/17

## 村上木彫堆朱の後継者育成などに尽力

### 村上堆朱協同組合員3人がトリプル受賞（村上堆朱協同組合）

市の伝統工芸である「村上木彫堆朱」の工芸士である3人が、これまでの後継者育成事業などの活動が評価され各関係機関よりそれぞれ功労者表彰を受けました。

関東経済産業局長表彰を受けた小杉和也さんは「組合の皆さんの支えがあって、このような賞をいただけたことはありがたい。これからも精進していきたい」と話してくれました。

#### 各功労賞と受賞者

【令和3年度伝統的工芸品産業功労者等表彰  
関東経済産業局長表彰】

小杉 和也さん（長井町・写真右）

【第23回関東伝統工芸士会功労者表彰】

川上 健 さん（小国町・写真左）

【第16回新潟県伝統工芸士大会・功労者表彰】

池野 律子さん（長井町・写真中央）



11/24

## 障がい者アートによる三方（売り手、買い手、世間）よしのプロジェクトが始動

### 官民協働による新たな資金循環型プロジェクト（NPO法人都岐沙羅パートナーズセンター）



スタート時はポストカード12種類/配送箱貼付用シール3種類を販売



NPO法人都岐沙羅パートナーズセンターによる障がい者の新たな収入源を確保する試み「アートこらぼ・むらかみ」が12月1日からスタートしました。

この事業は、障がい者によるアート作品と著作物利用許諾契約を結び、利用した作品に対して利用料が支払われる仕組みで、第1弾として、村上市ふるさと納税の返礼品を扱う事業者が商品（今回はポストカードとシール）を購入、返礼品を発送する際、同封したり貼ったりしています。

NPO法人都岐沙羅パートナーズセンターでは、令

和元年に開催された「全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」の作品展示をコーディネートしたことをきっかけに、障がい者作品のビジネスモデルが構築できないか検討を開始。これまで官民の参画を得ながら協議を進めてきました。

「障がい者アートは地域資源」だと改めて思うとともに、先例のない取り組みとして、試行錯誤しながらも関係するすべての人がWin-Winになれるよう、今後も第2弾、第3弾とプロジェクトを加速させていくそうです。